

平成21年度

国立大学法人東京医科歯科大学
公開講座

「健康を創る(V) - 新しい治療法を知ろう -」

受講案内

国立大学法人東京医科歯科大学

『健康を創る(V)』 — 新しい治療を知ろう —

講座の概要

本公開講座では平成 17 年からの5年間、「健康を創る」を統一テーマとして市民の皆様に種々の情報を提供してまいりました。一昨年サブテーマ「健康長寿のために」、昨年のサブテーマ「病気を知ろう」に引き続き本年は「新しい治療法を知ろう」を企画いたしました。

健康生活に留意して生活していても種々の疾患に遭遇し、治療を受け入れなければならないことは誰にもあることです。その場合にどのような治療を選択し、医師とともに病気に立ち向かって行くか、最新の情報を得ておくことは重要です。

現代の医療は、過剰とも思われる情報の中から、ご自分に最も合った治療法を選ぶよう主治医の説明を十分に受け、患者さんが自ら治療法を選択するという方向へ大きく変化して来ました。治療は患者と医療者側の共同作業であるということが望ましいといわれる所以です。

本学の大きな特長である医学部と歯学部から「新しい治療法を知ろう」というテーマに沿ってそれぞれ専門の講師を選らび、皆様にわかりやすくお話をさせていただく予定です。

この公開講座が皆様の健康づくりにお役立て頂けるよう希望いたします。

~~~~~

- ◎ 日 時 10月7日(水)～11月11日(水) 18:00～19:40 (毎週水曜日・全6回)
- ◎ 開催場所 歯学部附属病院 外来事務棟4F 特別講堂
- ◎ 募集人数 120名《応募者多数の場合は先着順とさせていただきます》
- ◎ 応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールで、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号、緊急連絡先(携帯電話番号等)、「健康を創る(V)」受講希望、と記入して下記宛先にお申し込みください。

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45

国立大学法人 東京医科歯科大学 総務部総務課 広報掛 宛

TEL: 03-5803-5011/FAX: 03-5803-0272/E-mail: kouza.adm@cmn.tmd.ac.jp

お申込後順次、お振込用紙他「受講のご案内」をお送りいたします。

- ◎ 応募締切 ~~平成21年9月11日(金)~~ 消印有効(電子メールでお申込みの場合、同日22時までに送信してください。また、締切日以前に定員に達する場合がありますので、予めご了承ください。)

- ◎ 受講料 6,200円(全6回分・消費税込)

(後日送付しますお振込用紙により、銀行振込にてお支払いをお願いします。納入にかかる振込手数料については別途ご負担ください。本学(広報掛)へ直接現金をご持参することはご遠慮ください。一旦納入された受講料は、いかなる理由であっても返金いたしません。)

- ◎ 特記事項 受講者には、第1回目開講日に受講証及びテキストをお渡しします。全6回のうち4回以上受講された方には修了証を授与します。

# 『講座日程』

| 開講日           | 時間                  | 講 師                 | 演 題                                |
|---------------|---------------------|---------------------|------------------------------------|
| 10月7日<br>(水)  | 17:50               | 開 講 式               |                                    |
|               | 18:00<br>～<br>19:40 | 五十嵐 順正 先生<br>(義歯外来) | 歯が抜けてしまった、<br>どんな治療があるの？           |
| 10月14日<br>(水) | 18:00<br>～<br>19:40 | 久保田 俊郎 先生<br>(産婦人科) | 更年期からのヘルスケア                        |
| 10月21日<br>(水) | 18:00<br>～<br>19:40 | 二階堂 徹 先生<br>(むし歯外来) | むし歯を治す<br>～最新のキーワードは接着～            |
| 10月28日<br>(水) | 18:00<br>～<br>19:40 | 横田 隆徳 先生<br>(神経内科)  | 脳卒中にならないようにするには<br>どうする？ なったらどうする？ |
| 11月4日<br>(水)  | 18:00<br>～<br>19:40 | 青木 章 先生<br>(歯周病外来)  | 光エネルギーを用いた歯周病の<br>新しい治療ーレーザー療法     |
| 11月11日<br>(水) | 18:00<br>～<br>19:40 | 頼 建光 先生<br>(腎臓内科)   | 慢性腎臓病<br>ー 古くて新しい腎臓の病気             |
|               | 19:40               | 閉 講 式               |                                    |

★ 10月 7日(水) 18:00～19:40

## 「歯が抜けてしまった、どんな治療があるの？」

五十嵐 順正 先生(義歯外来)

皆さんは歯が失われる大きな原因の一つが歯周病であることを十分知っておられると思います。歯が失われると「噛めない、離せない、格好が悪い」という負の三拍子が出現し、皆さんを苦しめます。歯科医院で抜けた所を埋めればそれでよいのでしょうか、どんな治療法があって、何が違うのでしょうか。今回は学理に裏付けされた長年の臨床経験から歯を失われた皆様に最も適切な治療法をご紹介します「転ばぬ先の杖」とさせていただきます。

★ 10月 14日(水) 18:00～19:40

## 「更年期からのヘルスケア」

久保田 俊郎 先生(産婦人科)

閉経前後で卵巣機能が低下し、さらに心因的・社会的なストレスも加わる更年期には、種々の身体的トラブルが発生しやすくなります。その代表的疾患は更年期障害で、自律神経失調症を中心とした不定愁訴を主訴とする症候群です。その他、泌尿生殖器の萎縮症状、骨粗鬆症、心血管系疾患などが50歳代半ば頃より増加します。更年期以降のQOL向上を図るためには、ヘルスケアを念頭において肉体的・精神的な種々の障害を乗り越え、楽しく生き生きとした人生を過ごしていくことが重要です。そのための方策について、わかりやすく解説したいと思います。

★ 10月21日(水) 18:00～19:40

## 「おし歯を治す～最新のキーワードは接着～」

二階堂 徹 先生(おし歯外来)

おし歯の治療といえば、昔から「おし歯を削る」、「穴の開いたところをつめる」という治療です。しかし、「おし歯の削り方」や「つめ方」はどんどん進歩しています。最新のおし歯治療では、歯に接着材を塗って光で固め、そこに歯と同じ色の材料をつめるといった治療です。おし歯治療の歴史から接着を使った最新の治療法までをお話しする予定です。できるだけ「削らない」、「痛くない」、そして「白い」が最新の治療です。

★ 10月28日(水) 18:00～19:40

## 「脳卒中にならないようにするにはどうする？」

なったらどうする？」

横田 隆徳 先生(神経内科)

脳卒中とは脳の血管の閉塞や破綻(出血)が突然生じることによって起こる脳の病気の総称で、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血があります。脳卒中は死に至る疾患で日本人の死亡原因のうち、ガン・心臓病について第3位となっています。また日本人の脳卒中の種類も、生活習慣の欧米化によって、近年では脳出血が軽症化し、脳梗塞が増加しています。多くの脳卒中は生活習慣の改善と適切な内科的な治療でその発症頻度を減らすことができます。また、発症しても急性期の治療によって救命できたり、後遺症を減らすことができます。本講座では脳卒中にならないようにするにはどうしたら良いか、なってしまったらどうしたら良いかをご説明したいと思います。

★ 11月4日(水) 18:00～19:40

## 「光エネルギーを用いた歯周病の新しい治療ーレーザー療法」

青木 章 先生(歯周病外来)

歯周病の治療は、従来、手用器具を用いて感染した病変部の除去を行い、また、必要に応じて抗生物質を使用しています。しかし、従来の機械的な治療は、技術を要し、その効果には限度があり、抗生剤の使用では耐性菌の問題が生じてきています。このような中、近年、優れた臨床効果を持つレーザーを応用する治療法が徐々に増加しつつあります。本講座では、当分野で長年研究しているエルビウムヤグ・レーザーを中心に、歯肉の審美的治療から、歯周ポケット治療、歯周外科治療まで、最新の様々なレーザー歯周治療について、その基礎研究と臨床応用についてご紹介いたします。

★11月11日(水) 18:00～19:40

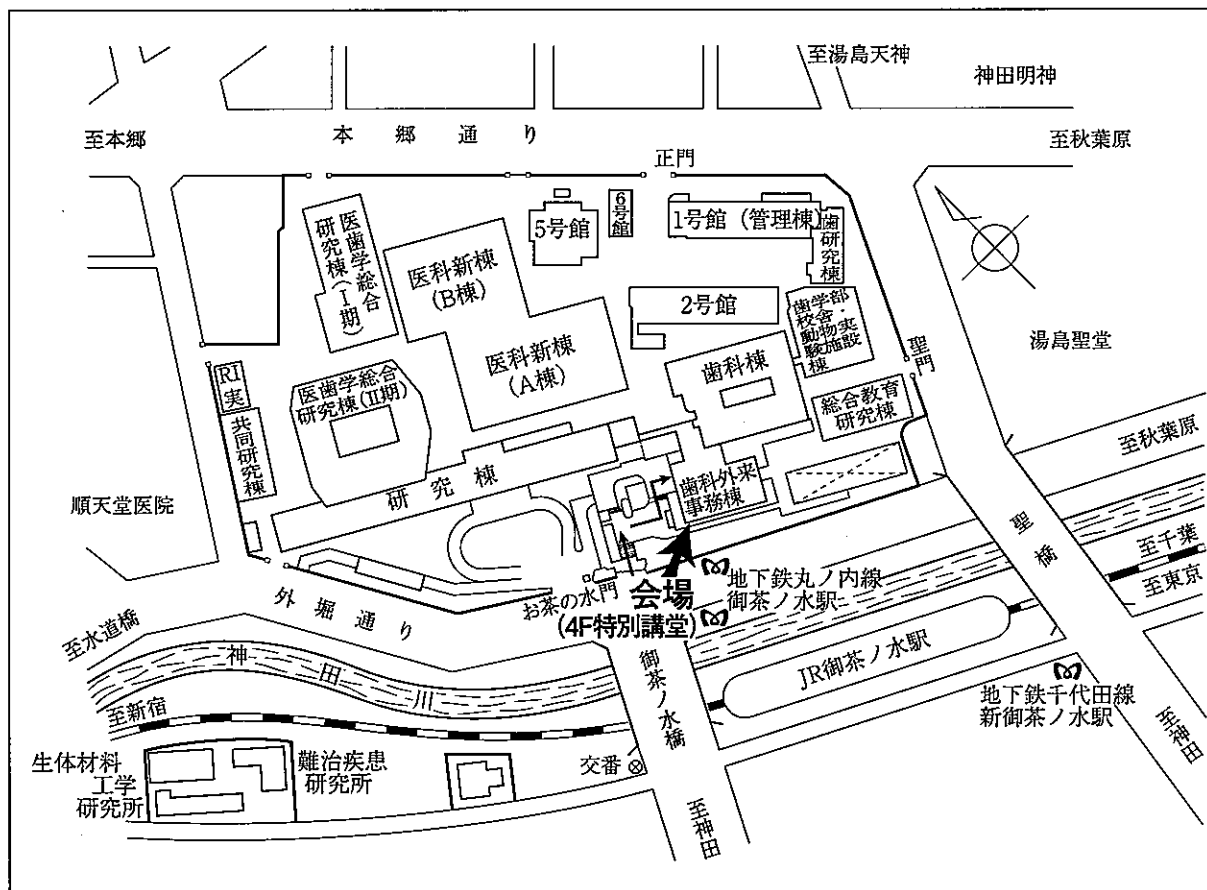
## 「慢性腎臓病 ― 古くて新しい腎臓の病気」

頼 建光 先生(腎臓内科)

みなさんは、「腎臓病」に対しどのようなイメージをお持ちでしょうか。とかく、「腎臓が悪い」というと、「治らない」「将来は透析になってしまう」というマイナスの先入観をお持ちの方が多くはないでしょうか。

「慢性腎臓病 (CKD)」とは、最近になって提唱された腎臓の病気を包括的にとらえようとする概念です。この概念の登場により、腎臓病を早く発見し、適切な治療により腎臓の機能が低下することを抑えることも可能な時代になりました。今回は「慢性腎臓病」について、その早期発見には何が必要か、治療はどのようにすればよいか、などについてお話したいと思います。

## 公開講座実施会場案内図



申し込み・問い合わせ先

国立大学法人 東京医科歯科大学

掛報広報課務部務総

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL : 03-5803-5011 (ダイヤルイン)

E-mail : kouza.adm@tmd.ac.jp